

ウェルネス人材育成プログラム



「ウェルネス人材育成プログラム」は、一般社団法人新潟県労働衛生医学協会の職員に対し、新人からベテランまでそれぞれの習熟段階に応じて、キャリア発達を組織的に支援する研修プログラムです。

健康（ウェルネス）は、我々がより豊かで自立した生活を送るためのベースです。しかしながら、高齢化に伴う保険費用の増大により、安心な生活を支えるための社会保障制度の維持が困難になってきています。また、日本は先進諸外国と比して健康意識が未成熟なため、「生活習慣の改善」「予防」に時間・お金を投資する人はごく少数です。

このような社会環境の中にあって、我々の使命は、健診・人間ドック、健康啓蒙・教育等を通じて、国民の生活価値を向上させることにあります。

我々の事業の源泉は、言うまでもなく「人」。サービスの質を向上し、持続的成長を実現するためには、「プロフェッショナルな人材を、より早く、より多く養成するためのオリジナルな教育体系」の整備が必要となります。

INDEX

1. 理事長メッセージ	P.1
2. 協会理念	P.2
3. 求める人材像	P.3
4. 受講スタイル	P.3
5. 人材育成プログラムの進め方 ...	P.4
6. モデルキャリアプラン	P.5
7. 職員の声	P.6

1. 理事長メッセージ

当会は公益法人として1962年（昭和37年）の設立以来、医師法、医療法及び労働安全衛生法など関連する法規に基づいた幅広い健康増進事業を展開し、お客様の「健康管理」や「労働衛生教育」のサポートに従事しています。

今後も多様化するお客様のニーズに対応すべく「お客様から第一に選ばれ続ける健康増進事業の推進」を品質方針に掲げ、常にお客様の立場で考え、お客様の要求事項を確実に満たすとともに、安心と信頼をいただける高品質なサービスを提供し続けていかなければなりません。

当会では従来より、外部精度管理事業への積極的な参加、技術レベル向上を目指した社外教育をはじめ、「ISO9001」の認証取得による業務手順の統一化など、県民の皆様から安心して健康診断を受けていただくためのシステムづくりに取り組んでまいりました。

このウェルネス人材育成プログラムを通じて、プロフェッショナルな人材を、より早く、より多く養成することで、お客様により一層のサービスを提供できるよう、一丸となって取り組んでいかなければなりません。

一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会

理事長 藤口 憲輔

職員数

医 師	51
診療放射線技師	56
保 健 師	22
看 護 師	108
准 看 護 師	63
臨床検査技師	162
細胞検査士	1
管理栄養士	17
栄 養 士	7
労働衛生コンサルタント	2
トレーナー	6
事 務	231

合計926人（2018年4月1日現在）

薬 剤 師	2
理学療法士	34
作業療法士	21
言語聴覚士	9
社会福祉士	7
社会福祉主事	2
歯科衛生士	2
介護福祉士	88
介 護	7
臨床工学技士	2
調 理 師	19
調 理 員	7

2. 協会理念

— 経営理念 —

お客様の感動と楽しい職場

1962年の設立以来、当会は予防医学のエキスパート機関として、お客様から「安心」と「信頼」をいただけるよう、たゆまぬ努力を続けてきました。

しっかりとした健康管理システム、精度の高い検査システム、迅速な結果処理システム、信頼をいただくためのダブルチェック体制に加え、県内唯一の労働衛生教育の登録教習機関として各種作業主任者技能講習から、メンタルヘルスやマネジメント教育、また、岩室地域におけるリハビリテーション病院を中核とした医療と介護が一体となった体制づくりなど、ハードとソフトの両面にわたり、お客様から「第一」に選んでいただける組織づくりを目指します。

品質方針

1. お客様に第一に選ばれ続ける健康増進事業を推進し、県民に奉仕する。
2. お客様のニーズに応えるため、「品質マネジメントシステム」が効果的であり続けるように継続的な改善を行い、その向上に努める。

健康経営宣言

新潟県における健康寿命の延伸に貢献するため、職員一人一人が心身ともに健康で、生き生き働ける職場環境をつくり、楽しい職場を目指すことを宣言する。

当会は、経済産業省と日本健康会議が共同で進める「2019健康経営優良法人 ホワイト500」に2018年に続き2年連続で認定されました。



3. 求める人材像

1
「お客様第一主義」の心を持ち、
常にスキル向上に努める人

2
ルールを守り、
正しいプロセスで
仕事を成し遂げる人

3
自己の役割を認識して、
チームのために全力を尽くす人

4
明るい笑顔で、
組織内外のコミュニケーションを
上手に図れる人

4. 受講スタイル

人材育成プログラムは、受講者のレベル、必要とされるカリキュラム内容、現場の仕事との兼ね合いなどから、内容にあった下記の4つのスタイルで受講することができます。

電子教材

マニュアル等の文書では伝わりにくいポイントを動画で学習できます。いつでも、どこでも、何回でも、視聴できる効率的な受講スタイルです。



社内 OFF-JT

社内で行われた実務に沿った研修内容で、外部・内部の講師より実施します。また、内部講師自身も教えることで成長できるメリットがあります。



資格取得等

更なるスキル向上、精度向上を目指した資格の取得に対して、教育面でサポートいたします。例えば、「胃がん検診専門技師」「超音波検査士」などです。



外部研修

外部機関によるセミナーを通じて、専門知識を取得します。業界の慣習や社内のルールにとらわれない新たな発見、発想に結び付くことが期待できる受講スタイルです。

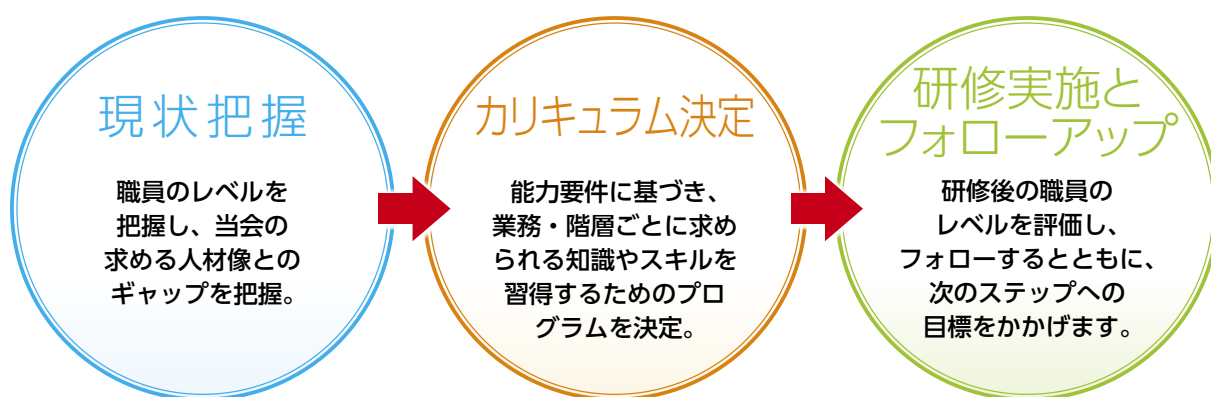


5. 人材育成プログラムの進め方

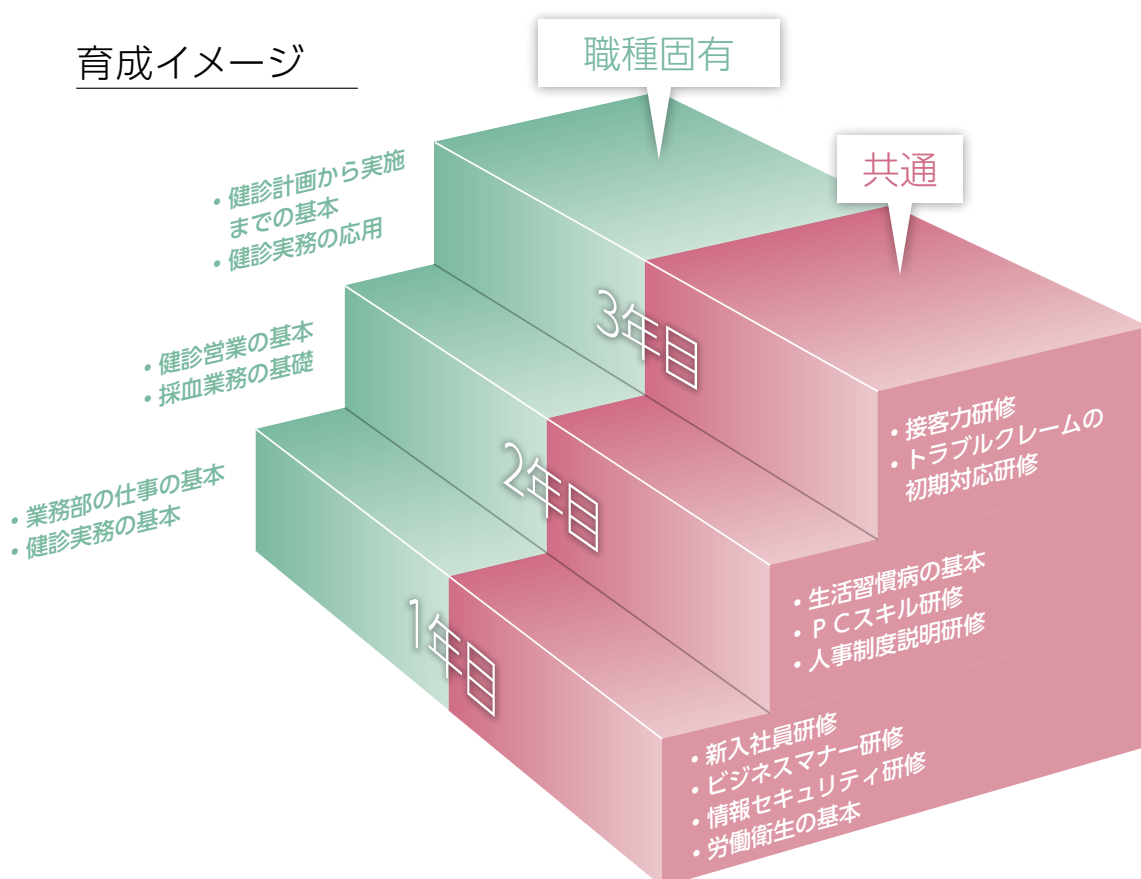
当会は、『プロフェッショナル』を育成するための教育・制度を準備し、職員一人ひとりのスキルを把握することで、確実なスキル向上を図ります。

職員それぞれに合わせた、OJTや社内認定資格の取得や職種別・役職別の勉強会などを通じて、職員の成長と技能の向上をきめ細かくフォローするとともに、意思疎通を図りながら、それらの意見を全体の取り組みや顧客サービスの向上に役立てます。

また、胃がん検診専門技師（日本消化器がん検診学会）、超音波検査士（日本超音波医学会）、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師（日本乳がん検診精度管理中央機構）など、学会認定資格の取得も推奨し、外部研修への参加や内部の勉強会の開催などにより教育・訓練を行うことで、さらなるスキルアップを図ります。



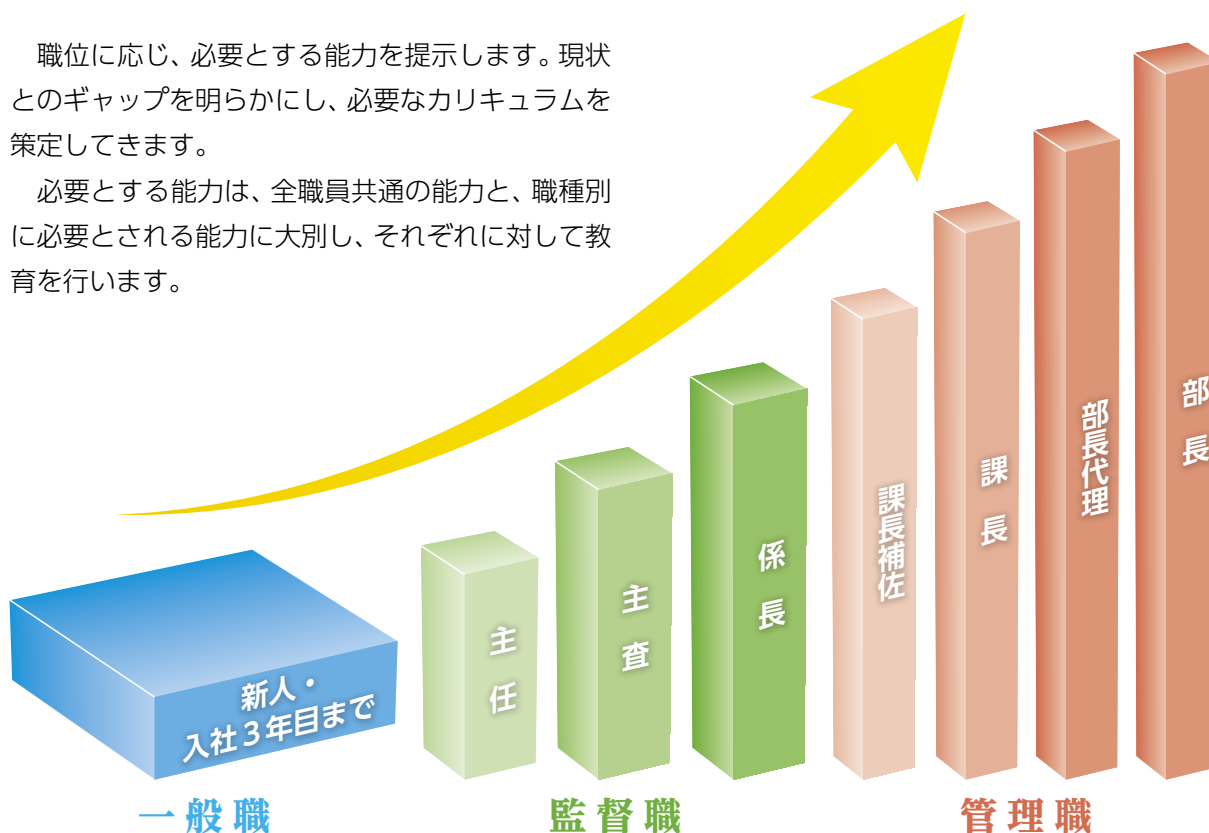
育成イメージ



6. モデルキャリアプラン

職位に応じ、必要とする能力を提示します。現状とのギャップを明らかにし、必要なカリキュラムを策定してきます。

必要とする能力は、全職員共通の能力と、職種別に必要とされる能力に大別し、それぞれに対して教育を行います。



一般職		監督職		管理職	
求められる能力		求められる能力		求められる能力	
共通		共通		共通	
新入社員研修 新入社員フォロー研修 情報セキュリティ研修 労働衛生の基本 生活習慣病の基本 PCスキル研修 接客力研修 トラブル・クレーム初期対応研修 内定者フォロー研修 人事制度説明研修 ビジネスマナー研修		生産性向上研修 課題解決力強化研修 人事労務管理研修 新任監督者研修 コンプライアンス研修 品質・ISO マネジメント研修 おもてなし研修 職員満足度研修（ホワイト500） コミュニケーション力強化研修 先輩社員研修 メンター（指導者・助言者）研修 女性活躍研修		人事労務管理研修 新任管理職研修 経営・組織管理研修 内部監査リーダー養成講座 トラブル・クレーム解決研修 ワークライフバランス研修 中高年の能力開発	
職種固有		職種固有		職種固有	
業務部の仕事の基本 健診営業の基本 健診計画から実施までの基本 検査結果データ処理の基本と実務 健診実務の基本・応用 採血業務の基礎 保健指導の基本 特定保健指導 研修 検体検査の基本 臨床検査の実務		健診計画の立案から提案のポイント 提案営業力向上 検査機器のトラブル対応		プロジェクトマネジメント研修	

7. 職員の声



臨床検査技師
阿部 沙也香

所属
ウェルネス
検診センター

私は現在、事業所や市町村などの巡回健診で心電図や尿検査などの健康診断業務を行っています。初めは分からない事ばかりでしたが、先輩方が優しく丁寧に教えて下さり、安心して業務を行うことができます。また、自分が挑戦したい事を大切にして下さるのでスキルアップができます。私も目標に向かって自分自身を成長させたいです。



臨床検査技師
内山 秋人

所属
ウェルネス
検診センター

私は、各事業所に出向いて行う巡回健診に臨床検査技師として携わっています。最初は各検査のやり方を覚えて実践することから始めました。色々な検査があり、覚えるのが大変でした。そんな時、先輩方から丁寧なご指導を頂き、少しずつ覚えていくことが出来ました。今は日々検査のスキルアップに努めています。



看護師
富山 花澄

所属
ウェルネス
検診センター

私は現在、主に一般企業の労働者を対象とした巡回健診業務に携わっています。健診において、看護師は血圧測定や採血を担当する機会が多くあります。特に採血は、受診者の負担が大きい検査でもあるため、より正確な技術が求められます。日々の実践の中で先輩方からご指導いただきながら、技術の向上に努めています。



診療放射線技師
石田 涼

所属
吉田検診
センター

私は検診車による胃部X線検査を主に行っています。撮影技術についての知識も大切ですが、安全に不安なく検査を終えられるよう、気遣いの心を持つことも非常に重要となります。定期的な研修会や先輩方から日々アドバイスを頂く事ができる環境で、自身の知識や技術を高めていく意識を持ちながら業務に励んでいます。



所 属
業務部
業務 1 課

渉外部門
笹川 隆二

私は渉外を担当しており、お客様の所へ出向いて健康診断や人間ドックをご案内する仕事をしています。普段は先輩の方々とロールプレイング等を通じて、社会人としてのマナーや営業スキル向上に努めています。健康診断をご案内して受診していただくということは、お客様の命を救うことに繋がるため、非常にやりがいがある仕事だと感じております。



所 属
事業部
事業推進課

渉外部門
土田 浩介

私は現在、県外他機関や取りまとめ団体との契約業務に携わっています。日々勉強の連続ですが、実際の業務に携わりながら、一つ一つ先輩方が教えてくださるので、安心して業務に取り組むことができます。今後は、資格取得や研修などを通じてスキルアップに励み、成長していきたいと思います。



所 属
情報処理
1 課

情報処理部門
斉藤 恋幸

私は、特殊健康診断の結果処理を担当しています。最初は健康診断の種類を覚える事から始まりました。日々の結果処理業務を覚える事は勿論ですが、関係法令等基本となる知識を身に付ける必要があります。こんな時には先輩方からご指導いただき、技能講習を受講する機会を得ました。自ら学ぶことの大切さを実感する毎日です。



所 属
情報処理
1 課

情報処理部門
山田 佳央子

私は現在、市町村が主体となって行う住民健診の結果処理に携わっています。主に特定健診の担当をしていますが、対象者や健診項目、各自自治体独自のご要望など覚える事が多く、戸惑うことの連続でした。そんな時、先輩方が順を追って教えてくださり、今は「なりたい自分」に向かって、スキルアップに努めています。



一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会

本部事務局

新潟市中央区川岸町 1-39-5 ☎ 025-267-1200(代)

新潟ウェルネス

新潟市西区北場1185-3 ☎ 025-379-0550(代)

新潟プレスト検診センター

新潟市中央区川岸町1-39-5 ☎ 025-234-3737(専)

集団検診センター

新潟市中央区川岸町1-39-5 ☎ 025-267-1239

新潟健康増進センター

新潟市中央区川岸町1-47-7 ☎ 025-232-0151

プラーカ健康増進センター

新潟市中央区天神1-1プラーカ3 5F ☎ 025-247-4101

岩室リハビリテーション病院

新潟市西蒲区岩室温泉772-1 ☎ 0256-82-4100(代)

岩室健康増進センター

新潟市西蒲区岩室温泉772-1 ☎ 0256-82-5244

介護老人保健施設いわむろの里

新潟市西蒲区橋本97-1 ☎ 0256-82-5040

岩室成人病検診センター

新潟市西蒲区橋本143-1 ☎ 0256-82-5001

吉田検診センター

燕市吉田東栄町36-20 ☎ 0256-92-2336

燕検診センター

燕市東太田字杉名田6857 ☎ 0256-63-5260

小出検診センター

魚沼市小出島1240-13 ☎ 025-792-3365

十日町検診センター

十日町市春日町2-113 ☎ 025-752-6196

柏崎検診センター

柏崎市大久保1-3-7 ☎ 0257-22-5665

佐渡検診センター

佐渡市真野536 ☎ 0259-55-3175

三条検診センター

三条市塚野目2-5-10 ☎ 0256-34-1434

新津成人病検診センター

新潟市秋葉区程島2009 ☎ 0250-22-1362

アクアーレ長岡健康増進センター

長岡市新陽2-5-1アクアーレ長岡2F ☎ 0258-47-5811